

令和元年度（平成30年度決算）

みやき町教育委員会 事務事業評価報告書

みやき町教育委員会

令和元年度（平成30年度決算）事務事業評価に係る事業一覧表

【学校教育課】

事業名	ページ数
○ 義務教育施設環境整備事業	1
○ 学校施設改修事業	2
○ 原子力・エネルギー教育支援事業	3
○ 外国語指導助手配置業務事業	4
○ JFAこころのプロジェクト事業	5
○ 町教育委員会研究指定校委嘱事業	6
○ 教育委員会活動事業	7
○ 特別支援教育支援員配置事業	8
○ スクールカウンセラー事業	9
○ スクールソーシャルワーカー事業	10
○ 学力向上支援体制確立対策事業	11
○ ICT支援体制確立対策事業	12
○ 社会科副読本作成事業	13
○ 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	14
○ 育英資金貸付基金事業	15
○ 学校給食費補助事業	16
○ 学校給食センター事業	17

【社会教育課】

事業名	ページ数
○ 青少年健全育成事業	18
○ まちづくりいきいき女性クラブ事業	19
○ 放課後子ども教室事業	20
○ 生涯学習事業	21
○ 図書館事業	22
○ 文化財保護事業	23
○ 肥前さが幕末維新博補助金事業	24
○ 九州及び全国競技大会出場補助事業	25
○ 町体育協会補助事業	26
○ 町民体育大会実行委員会補助事業	27
○ 各種スポーツ大会等開催事業	28
○ 社会体育施設整備事業	29

事業名	義務教育施設環境整備事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	9,008	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							9,008
基本方針	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進					
	主要施策	学校施設・設備の充実					
事業の内容等	町内小・中学校の施設整備により児童生徒の安全・学習環境の充実に努める。						
事業の実績等	<p>○中学校校務用端末（教職員用パソコン）更新事業 中学校3校で使用している教職員校務用パソコンを更新した。 89台 8,316,000円 内訳） 中原中学校 30台 北茂安中学校 31台 三根中学校 28台</p> <p>○中原中学校ブロック塀安全点検等状況調査業務委託事業 中原中学校敷地内にあるブロック塀等について、専門家による内部の診断を実施し ブロック塀等の安全性の有無を確認した。 691,200円 調査箇所 ・ 自転車小屋東側ブロック塀 ・ テニスコート西側ブロック塀 ・ 技術室南側ブロック塀 ・ 北校舎西側ブロック塀</p>						
事業の成果等	自己評価	パソコン更新については、計画通り完了しました。また、中学校のブロック塀の安全点検については、内部調査の結果、4箇所とも建築基準法に適合していなかった。改修工事については、令和元年度に実施し完了している。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	学校施設改修事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
				費目		小学校費・中学校費		
事業費 (千円)	273,079	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
					162,200		110,879	
基本方針	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進						
	主要施策	学校施設・設備の充実						
事業の内容等	学校施設の老朽化等に対し改修を行う。							
事業の実績等	中原小学校 ①垂直式救助袋取替工事 831,600円 ②給食室改修工事 82,080,000円 ③北校舎建具改修工事 1,155,600円 ④給湯器防護柵設置工事 356,400円 北茂安小学校 ⑤中棟防水工事 43,686,000円 ⑥受水槽高架水槽取替工事 21,850,560円 ⑦屋外照明用(投光器)電源工事 264,600円 ⑧屋外放送設備改修工事 1,015,200円 ⑨インターホン増設工事 400,213円 ⑩遊具改修工事 1,112,400円 ⑪中庭屋外スピーカー改修工事 254,880円 ⑫プールマット敷き込み工事 4,938,840円 ⑬給食室ガス給湯器取替工事 615,600円 三根東小学校 ⑭防球ネット改修工事 1,285,200円 ⑮教室棟北側壁面塗裝修繕工事 1,501,200円 ⑯給食室搬入上屋取合雨漏工事 935,280円 ⑰プールマット改修工事 2,029,752円 ⑱給水管取替工事 24,624,000円				三根西小学校 ⑲校舎1階廊下防滑シート張り工事 1,140,696円 ⑳受水槽及び給水設備改修工事 18,997,200円 ㉑体育館放送機器取替工事 405,000円 ㉒フェンス改修工事 432,000円 ㉓プール層塗装工事 399,600円 ㉔循環ろ過装置ポンプモーター及び集液管取替工事 684,720円 ㉕校舎屋上防水工事 43,308,000円 中原中学校 ㉖駐輪場ブロック塀改修工事 1,693,440円 北茂安中学校 ㉗避難器具取替工事 831,600円 ㉘防球ネット工事 9,237,240円 ㉙入口線法面復旧工事 993,600円 ㉚部室棟塗装工事費 1,185,840円 ㉛体育館床塗装研磨工事 4,059,720円 ㉜放送室空調機取替工事 197,532円 ㉝パソコン教室及び図書館閲覧室ブラインド改修工事 206,172円 ㉞給食室空調機器取替工事 369,000円			
	事業の成果等	自己評価	各小・中学校施設工事は、施設の老朽化改修で児童生徒利用の安全確保と教育環境の充実を図ることができた。大規模改修等については、計画的に実施し、その他学校からの要望に応じて、随時対応している。					
達成 おおむね達成 やや不十分 不十分								
評価委員	評価結果	意見・指摘事項						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。						
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等							

事業名	原子力・エネルギー教育支援事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	小中学校費			
事業費 (千円)	170	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				170			
基本方針	重点目標	実験を通して放射線に対して興味・関心を高めるとともに、正確な知識を身に付けさせる。					
	主要施策	原子力・放射線の学習に関する教材の整備を行う。					
事業の内容等	放射線の性質実験セットを整備し、原子力・放射線の学習に活用する。						
事業の実績等	<p>事業実施校：中原中学校（対象：3年生） 北茂安中学校（対象：3年生）</p> <p>事業実施年数：単年申請の10年目</p> <ul style="list-style-type: none"> 中原中学校：交流送電実験ボード（17,280円） テックデザインシリーズサーキット・ツールキット（54,000円） 北茂安中学校：放射線の性質実験セット（99,000円） 						
事業の成果等	自己評価	実験を実施し、放射線の性質について学習したことで、放射線や原子力を含むエネルギーに関する興味・関心が高まり、理解が深まった。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	外国語指導助手配置業務事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	外国青年招致事業費			
事業費 (千円)	10,887	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							10,887
基本方針	重点目標	町内児童、生徒の英語学力の向上を目指す					
	主要施策	英語圏外国人の指導にて、語学力向上と異国文化の知識習得を図る					
事業の内容等	町内中学校区ごとに外国人指導者（ALT）を配置して、中学校における英語授業での日本人教諭のアシスタント及び小学校における英語授業での指導を行い、子ども達の外国語学力の向上と異国文化の知識習得を図る。						
事業の実績等	外国人指導者（ALT）を業者委託により、下記のとおり配置した。 中原校区：アメリカ籍男性 北茂安校区：イギリス籍男性 三根校区：アメリカ籍女性						
事業の成果等	自己	ALT 3名とも、学校における勤務評価も良好で、ある程度の日本語での会話も出来る。授業時間以外でも子ども達に親しく接しており、児童生徒とのコミュニケーションも取れている。「言葉が通じない。」といった固定観念を払拭させ、子ども達の外国語学力向上、並びに学習意欲増進に貢献している。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	JFA こころのプロジェクト事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	1,160	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							1,160
基本方針	重点目標	夢を持つことの大切さ、夢や目標に向けて努力しようとする意識や態度を育む					
	主要施策	子どもが夢を持ち続けることができる教育の充実					
事業の内容等	公益財団法人日本サッカー協会が推進するJFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業により、夢先生をみやき町立小学校に派遣する。						
事業の実績等	<p>1 実施校 みやき町立4小学校（6クラス） 中原小学校・北茂安小学校・三根東小学校・三根西小学校</p> <p>2 対象 第6学年</p> <p>3 派遣講師 不田涼子（テニス）、山下芳輝（サッカー）、川面茜（バスケットボール）、 アシスタント：安永聡太郎（サッカー） 合計3名の講師及びアシスタント1名による授業を1クラス2校時実施</p> <p>4 事業継続年数 6年</p>						
事業の成果等	自己評価	夢先生に興味を持ち、夢先生の授業からあきらめない気持ちを持つことの大切さを学んだ。児童や教職員からの評価も高く次年度実施の希望も多かった。計画どおりに達成でき、十分な成果を上げられた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	みやき町教育委員会研究指定校委 嘱事業（2ヶ年事業の2年目）		所管課	学校教育課	担当	教育総務担当	
			費目	事務局費			
事業費 (千円)	183	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							183
基本 方針	重点目標	小中一貫教育を通して、自ら考え、生き生きと活動する児童生徒を育成する					
	主要施策	主体的に生きてく児童生徒を育む教育の推進					
事業の 内容等	町教育委員会が北茂安校区2校（北茂安小学校、北茂安中学校）を研究指定校として委嘱し、小中の一貫した学校教育を通して、主体的に生きていく児童生徒の育成を図った。						
事業の 実績等	<p>○ 決算額 182,552 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中合同研修会の実施 合同研修会を8月に2回実施した。また、小中相互の授業参観を年2回実施し、さらに定期的な小中合同研究推進委員会を年7回実施した。 ・外部講師による指導 東部教育事務所指導主事による指導助言や教育センターより講師助言をいただいた。 ・北茂安校区小中連携教育研究発表会の実施 11月12日 2カ年計画による研究の成果を、みやき町内および近隣市町小中学校へ還元するために授業の公開を含む研究発表会を開催した。研究主題を「小中連携教育を通して、自ら考え、生き生きと活動する児童生徒を育成する」とし、小中両校合同による小中連携教育の研究推進を図った。さらに発表会では佐賀大学教育学部教授である達富洋二先生にご講演をいただいた。 						
事業の 成果等	自己評価	<p>成果として、小学校と中学校において授業スタイルや学習規律を揃えることで、児童生徒の学習意欲を高めた。本年度、中学1年生の学習状況調査において多くの教科で好きだと答えた生徒が県の平均値を大きく上回り、さらに意識調査において、中学3年生の「将来の夢や希望をもっている」と答えた生徒が県の平均値より10%高く全体の8割を占めていた。この学習意欲の向上が、自分の将来のビジョンを持ち、よりよく生きていこうとする意欲につながっているものと考察される。</p>					
	<p>達成 おおむね達成 やや不十分 不十分</p>						
評 価 委 員	評価結果	意 見 ・ 指 摘 事 項					
	<p>達成 おおむね達成 やや不十分 不十分</p>	特になし。					
次年度 以降の 取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	教育委員会活動事業			所管課	学校教育課	担当	教育総務担当
				費目	委員会費		
事業費 (千円)	936	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							936
基本方針	重点目標	教育の基本方針の総合的施策の推進					
	主要施策	教育の基本方針の教育行政の推進					
事業の内容等	教育委員会の活動状況や会議運営状況等						
事業の実績等	<p>〈主な学校行事参加関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校入学式（4/12）・中学校入学式（4/11）・・・教育委員分散しての告辞 ○ 学校訪問（年間通して、小中学校7校の訪問）・・・教育委員全員 ○ 運動会・体育大会への参加・・・教育委員分散しての参加 ○ 文化祭・・・教育委員分散しての参加 ○ 青少年主張会・・・教育委員全員 ○ 小学校卒業式（3/19）・中学校卒業式（3/8）・・・教育委員分散しての告辞 <p>〈主な会議参加関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町定例教育委員会（年12回）・町臨時教育委員会（年4回：7月3回、3月） ○ 三神地区教育委員会連絡協議会（春と秋の年2回） 						
事業の成果等	自己評価	教育委員においては、子どもたちの学校生活を把握できる機会を逃さないように学校行事に積極的に参加している。会議関係では、町定例教育委員会において付議議案のほかに、佐賀県の教育状況については教育長会資料により、また町内の状況については、校長会・教頭会の資料により確実に情報の共有を図っている状況である。また、地域の声を聴くため、地区懇談会・PTA等の行事に積極的な参加を行っているところである。					
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	特別支援教育支援員配置事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当							
				費目	事務局費									
事業費 (千円)	12,581	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源							
							12,581							
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進												
	主要施策	特別支援教育の一層の充実												
事業の内容等	小中学校に在籍する障害を持つ児童生徒に対して、学校教育活動上の日常生活の介助や学習活動上のサポートを行う。													
事業の 実績等	○ 特別支援学級入級者の状況（H30.5.1現在）													
	学校名	知的	情緒	難聴	肢体不自由	病弱	通級	学校名	知的	情緒	難聴	肢体不自由	病弱	通級
	中原小	4	19	1	0	0	1	中原中	1	9	1	0	0	0
	北茂安小	9	18	0	1	1	20	北茂安中	0	4	0	0	0	0
	三根東小	3	1	0	0	0	0	三根中	4	3	0	0	0	0
	三根西小	1	3	0	0	0	1	計	22	57	2	1	1	22
○ 支援員を中原小4名、北茂安小5名、三根東小1名、三根西小2名、中原中学校1名の計13名を配置し、特別支援員の補助生活指導によるきめ細かな生活指導に努めている。														
○ 通級者（まなびの教室）の状況 ・中原小学校1名、北茂安小学校20名、三根西小学校1名が、北茂安小学校内通級学級へ週1～2回（1～2時間）程度の通級を行っている。														
事業の 成果等	自己評価	支援員は、年々増加する特別支援学級の児童生徒に対し、より早い小学校段階での支援を手厚くするため、特別支援学級担任及び交流学級担任を補助する役割を担っている。特別支援学級においては、複数の児童を担当と分担して支援したり、支援員が教諭補助員（T2）の役割を行ったり、個に応じた指導を行っている。交流学級においては、他の児童と円滑に体験活動、学校行事等に取り組めるよう効果的な支援を行い児童の学びを充実させることができた。平成29年度から1名増員し中原中学校に配置した。また、北茂安小学校を3名から5名に増員した。												
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分													
評 価 委 員	評価結果	意 見 ・ 指 摘 事 項												
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。												
次年度 以降の 取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等													

事業名	スクールカウンセラー事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当			
				費目	事務局費					
事業費 (千円)	1,702	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
				567			1,135			
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進								
	主要施策	豊かな心を育む教育の推進								
事業の内容等	教育相談に関して、専門的な知識・経験を有する者をカウンセラーとして配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。中学校の事業費については、県費となる。									
事業の実績等	<p>○ 小学校においては、児童では友人関係、教職員・保護者では不登校傾向児童に係る相談が多かった。また、保護者から発達障害等に関する相談も多くみられる。中学校においても、不登校傾向生徒に係る相談が多く、生徒自身は、友人関係に関する相談が多い。教職員からは学校、学級に関する相談が多かった。</p> <p>○ 各小中学校において、教員及び保護者に対し、カウンセラーによる研修会を年1～3回行った。</p>									
	学校名	児童(人)	教職員(人)	保護者(人)	時間(h)	学校名	生徒(人)	教職員(人)	保護者(人)	時間(h)
	中原小	27	3	19	92	中原中	20	4	7	40
	北茂安小	53	68	14	160	北茂安中	49	75	8	120
	三根東小	8	13	3	40	三根中	3	15	12	40
	三根西小	24	9	16	40	計	72	94	27	200
計	112	93	52	332						
○ 小学校分は町費、中学校分は県費より直接支出										
事業の成果等	自己評価	昨年度に比べると小中学校で配置時間数が102時間減少したが、小中ともに昨年度より相談件数が増加傾向にあるため、配置時間数を増加するよう県に要望していきたい。引き続き当該事業を活用し、悩みや心配事がある児童生徒や保護者及び教職員の個々の相談案件への個別対応により、学校・家庭教育における細かな対応に努めていきたい。また、カウンセラー指導助言により、学校と家庭との連携をさらに充実させ、問題行動に対する未然防止や事後カウンセリングを引き続き行い安定した教育環境の確立を図っていきたい。								
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分									
評価委員	評価結果	意見・指摘事項								
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	相談件数増加に対応するため、スクールカウンセラーの配置時間の増加をお願いしたい。								
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等									
	県に対し、配置時間数の増を要望していきたい。									

事業名	スクールソーシャルワーカー事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	71	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							71
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	豊かな心を育む教育の推進					
事業の内容等	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援を行う。						
事業の実績等	<p>スクールソーシャルワーカー事業は県の事業であり、今年度は下記のとりの配置となった。</p> <p>派遣人数 3名 配当時間 530時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSW① 161時間 ・SSW② 125時間 実績時間 530時間 ・SSW③ 244時間 <p>上記の県配当時間だけでは不足が生じたため、SSWを直接委嘱し、不足分を町単費で対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSW① 7時間 ・SSW③ 8時間 ・SSW② 7.5時間 <p>実績時間 22.5時間 実績額 70,312円</p>						
事業の成果等	自己評価	<p>問題等を抱える児童生徒が増加し、その問題が多様化していく中で、関係機関との連携が重要になっており、特に家庭問題での福祉・医療機関との連携が重要になっている。そういった中で、家族や学校から相談を受け、当該児童生徒が置かれた状況に応じて、福祉・保健・医療等の関係機関との連携や、学校や関係機関を交えてのケース会議を開催したりするなど、多様な支援方法を用いて、問題解決に寄与している。</p> <p>支援体制の構築が強化されてきているが、相談件数増加への対応とさらなる支援の充実を図っていく必要がある。</p>					
	<p>達成</p> <p>おおむね達成</p> <p>やや不十分</p> <p>不十分</p>						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<p>達成</p> <p>おおむね達成</p> <p>やや不十分</p> <p>不十分</p>	<p>おおむね達成から達成になるよう、スクールソーシャルワーカーの配置時間を確保してもらいたい。</p>					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						
	配置時間及び予算の確保に努めていきたい。						

事業名	学力向上支援体制確立対策事業		所管課	学校教育課	担当	教育総務担当	
			費目	事務局費			
事業費 (千円)	9,646	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							9,646
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	確かな学力を育む教育の推進					
事業の内容等	<p>教諭補助事業・・・中学校に教諭補助員を配置し、生徒の学力向上及び生徒指導を行う。 また、不登校対策として、教育委員会事務局で不登校児童・生徒への個別指導を行う。</p>						
事業の実績等	<p>○ 教諭補助事業 決算額 9,645,513 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の直接雇用（3中学校に6名、不登校対策（事務局内勤務）1名・・・計7名の配置） ・中原中学校2名（体育・数学） 北茂安中学校2名（理科・音楽） 三根中学校2名（社会・体育） ・担当教科でTTを実施し、T2の役割を担うことで学習支援を行った。 						
事業の成果等	自己評価	<p>教諭補助員を配置したことで、一人一人の学習内容に応じた支援・対応ができたことで、個々の学力が向上できたと思われる。また、問題行動等においても教諭支援を行い、落ち着いた学校生活ができています。</p> <p>不登校児童生徒対策として、教育委員会に『フリースクール』を開校し、不登校児童・生徒の受け入れを行い、個別指導を通じて、通学者の学校・社会への適応力の醸成を図った。</p>					
	<p>達成</p> <p>おおむね達成 やや不十分 不十分</p>						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<p>達成</p> <p>おおむね達成 やや不十分 不十分</p>	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	ICT支援体制確立対策事業			所管課	学校教育課	担当	教育総務担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	7,628	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							7,628
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	確かな学力を育む教育の推進					
事業の内容等	授業における ICT 利活用を円滑に進める環境づくりとして、教員の ICT 活用を支援する「ICT 支援員」を配置することによりサポート体制の充実を図る。						
事業の実績等	<p>○ ICT支援員配置事業 決算額 7,627,472 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の直接雇用（3校区に各1名の配置・全校区対応職員として1名配置） ・電子黒板やタブレット端末の利活用の支援を行った。 						
事業の成果等	自己評価	平成30年度は中学校の校務用端末の入れ替えを行った。新しい端末に変わったが、ICT 支援員のサポートにより対応できている。また、授業や研修の開始前に機器やソフトウェアを設定したり、授業中や研修中に操作したり、操作方法を説明するなど教員の指導をしている。					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	デジタル教材について、情報を収集し紹介するとともに、それらの効果的な活用方法や指導案・指導計画づくりについて教員に助言を行っている。情報モラルやインターネット上の有害情報等の問題については、情報サービスの変化・多様化や、その中で児童生徒がこれまでなかったような被害に遭うケースの出現も考えられることから、最新の情報をもつ ICT 支援員の役割は重要である。全体的な対応をできる職員を1名配置したことにより、学校からの依頼、要望にも素早く対応できている。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	ICT機器利活用に大きな効果があるため、今後も引き続き事業の継続をお願いしたい。さらに教職員への研修の充実に取り組んでもらいたい。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						
	事業の継続及び教職員の研修の充実に努めていきたい。						

事業名	社会科副読本作成事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	1,944	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							1,944
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備					
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進					
事業の内容等	みやき町小学校社会科副読本を作成し、町内の小学校で活用する。						
事業の実績等	<p>町立小学校では3年生～4年生の社会科の授業で身近な地域のくらしや産業・環境などを学ぶために使用する統一した副読本がなかったため、平成29年度から平成30年度の2カ年間で作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会科副読本「わたしたちのみやき町」 <p>1,944,000円 印刷部数 1,100部</p>						
事業の成果等	自己評価	<p>原稿作成にあたっては、町内小学校の社会科主任など担当教諭により編集委員会を組織し、新学習指導要領等との整合性など確認しながら進めた。製本した副読本については、各小学校3、4年生に配布し社会科の授業で活用している。</p>					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	町立図書館等にも副読本を置いて町民にもPRしてみてもどうか。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						
	みやき町内の身近なくらしや産業・環境がわかる資料となっているので町立図書館等にも置いて、広く町民にもPRしていきたい。						

事業名	要保護・準要保護児童生徒 就学援助事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	小中学校費			
事業費 (千円)	13,306	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			6				13,300
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備					
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進					
事業の内容等	学校教育法第19条に基づく、経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施に資する。						
事業の実績等	<p>【要保護児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 4名 中学校 2名 計 6名 ・修学旅行費（実費）のみの支給 支給総額 小学校 12,920円 中学校 0円 <p>【準要保護児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 94名 中学校 63名 計 157名 ・認定者数はここ数年は横ばい傾向である <p>（H29年度：165名、H28年度：157名、H27年度：161名、H26年度：155名、H25年度：159名、H24年度：159名、H23：161名、H22年度：150名、H21年度：140名、H20年度：118名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学用品費等、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、医療費、学校給食費を支給。費目によっては、実費負担額支給をするが、限度額がある費目もある。 ・支給総額 小学校 5,972,469円 中学校 5,818,681円 ・次年度就学予定者の新入学児童生徒学用品費については、入学前支給を実施し入学時期の経済的負担軽減を図った。 <p>新入学対象者27名（小学校 7名 354,200円 中学校 20名 1,148,000円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、2月の町広報で申請のお知らせをしている。新1年生については、就学時健康診断の時に、チラシを配布している。随時申請も受け付けている（扶助費は月割） 						
事業の成果等	自己評価	準要保護児童生徒の増加は、景気が不安定な中にあり、また離婚等によるひとり親家庭が年々増加していることが主な原因である。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	就学援助事業を活用しながら、家庭教育力向上ができればと思っているところである。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	育英資金貸付基金事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当					
				費目	事務局費							
事業費 (千円)	4,160	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源					
						4,160						
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備										
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進										
事業の内容等	育英助長の必要があると認める本町に住所又は本籍を持つ優秀な高等学校または大学等に在学（進学）する者の中で、勉学等に意欲があり、経済的理由により学資の支弁が困難である者に対して修学上必要な資金として貸し付ける。											
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年度から制度の充実を図る目的として、貸付金額を大学生等2万円から4万円に、高校生等を1万円から2万円に増額し、償還年数も6年間から8年間に延長した。 ○ 大学生等 月額40,000円以内 / 高校生等 月額20,000円以内 の貸付 ○ 貸付期間は当該学年から正規修業時まで 利率は無利子 ○ 基金及び貸付者等の状況 (単位：千円、人) 											
		積立金	返済額	既認定者		申請者		認定者		貸付額	残額	
				高校	大学	高校	大学	高校	大学			
		平成26年度	0	2,106	1	4	0	3	1	7	1,800	3,540
		平成27年度	0	1,087	0	5	2	4	2	8	3,000	1,627
		平成28年度	2,000	1,861	2	5	0	2	2	7	3,000	2,488
		平成29年度	3,000	1,551	2	6	3	8	4	11	5,160	1,879
	平成30年度	5,000	1,433	2	8	1	1	1	1	4,160	4,153	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成20年度より貸付を開始している。みやき町育英資金運用委員会（委員5名）にて、採用者の決定を行っている。平成30年度は5/30に開催し、高校生1名、大学生1名の採用をした。 ○ 返済については、平成24年度より3名、25年度より1名、26年度より3名、27年度より3名、28年度より3名、29年度より3名の償還が始まった。6年以内（27年度貸付者からは8年以内）で月賦又は年賦で返済する。8名は返済完了している。 												
事業の成果等	自己評価	育英資金貸付事業の開始から11年目である。町広報の2・3月号に掲載をして募集を行い、31名の奨学生へ貸付を行った。平成24年7月から3名、25年7月1名、26年7月3名、27年7月3名、28年7月3名、29年7月3名の償還が開始され、償還計画どおり償還がなされている。30年度時点で貸付者は12名である。申請者においては、佐賀県等や他の育英資金貸付との兼ね合いを見ながら申請されている。返済が開始しても貸付の方が多いので、積立等をしながら基金を賄っていく状況である。										
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分											
評価委員	評価結果	意見・指摘事項										
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。										
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等											

事業名	学校給食費補助事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
				費目		事務局費		
事業費 (千円)	80,928		財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							36,737	44,191
基本方針	重点目標	子育て世代が抱えている経済的負担を軽減し、定住促進に寄与する。						
	主要施策	小中学校に在学する児童生徒のうち、第1子・第2子を半額補助、第3子以降を全額補助する。						
事業の内容等	同一世帯で18歳に達する日以降の最初の4月までの間にある子供の数でカウントし、小中学校に在学する児童生徒の給食費を1人目と2人目は半額を、3人目以降は全額を補助している。平成30年度から当面の間、ふるさと寄付金利活用事業として1人目と2人目についても、半額の追加補助を実施することにより完全無償化を実施している。子育て世代が抱えている経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境の整備を図り、もって定住促進に寄与することを目的とした事業。							
事業の実績等	【学校別対象者数及び金額】							
	【一般会計】				【ふるさと寄付金】			
	中原小学校	331人	8,797,385円	中原小学校	286人	6,431,890円		
	北茂安小学校	445人	11,575,419円	北茂安小学校	402人	9,233,500円		
	三根東小学校	155人	3,937,179円	三根東小学校	134人	2,926,272円		
	三根西小学校	170人	4,394,945円	三根西小学校	151人	3,429,245円		
	中原中学校	174人	4,992,317円	中原中学校	176人	4,854,718円		
	北茂安中学校	210人	6,094,950円	北茂安中学校	203人	5,648,550円		
	三根中学校	128人	3,707,484円	三根中学校	127人	3,484,284円		
	町立外小学校	12人	305,014円	町立外小学校	12人	298,635円		
	町立外中学校	28人	268,998円	町立外中学校	30人	322,267円		
	特例対応	4人	116,889円	特例対応	4人	107,331円		
	合計	1,657人	44,190,580円	合計	1,525人	36,736,692円		
事業の成果等	自己評価	通常補助対象児童生徒 1,657名、ふるさと寄付金補助対象児童生徒 1,525人に学校給食費を補助することで、子育て世帯の経済的負担を軽減し、定住促進、子育て支援につなげた。						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分							
評価委員	評価結果	意見・指摘事項						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。						
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等							

事業名	学校給食センター事業			所管課	学校教育課	担当	学校給食担当																	
				費目	給食センター費																			
事業費 (千円)	61,140	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																	
							61,140																	
基本方針	重点目標	児童及び生徒の心身の健全な発達に資する給食の提供																						
	主要施策	栄養バランスのとれた豊かな学校給食の提供																						
事業の内容等	小学校2校・中学校2校、一食あたり小学生245円・中学生294円で年間196回の給食を提供し、単独校3校に炊飯を提供した。																							
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食物アレルギーに対する除去食・代替食を提供した。(小学生 3名 中学生 5名) ○ 食の安全を徹底するために、調理員の衛生管理研修を実施した。(7月24日) ○ 安心・安全な給食提供のため、地元野菜の供給を推進した。 ○ 下記のとおり給食を提供した。また、中原小学校、北茂安小学校、北茂安中学校に炊飯を提供した。 ○ 施設・設備の老朽化に伴い調理室の床改修(8,760千円)、洗浄機(13,878千円)・ボイラー(10,141千円)の入替を行った。 																							
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【学校給食センター】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>提供数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中原中学校</td> <td>236</td> </tr> <tr> <td>三根東小学校</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>三根西小学校</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>三根中学校</td> <td>166</td> </tr> <tr> <td>給食センター</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>796</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【自校式】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>提供数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中原小学校</td> <td>428</td> </tr> <tr> <td>北茂安小学校</td> <td>542</td> </tr> <tr> <td>北茂安中学校</td> <td>282</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,252</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	学校名	提供数	中原中学校	236	三根東小学校	175	三根西小学校	205	三根中学校	166	給食センター	14	計	796	学校名	提供数	中原小学校	428	北茂安小学校	542	北茂安中学校	282	計
学校名	提供数																							
中原中学校	236																							
三根東小学校	175																							
三根西小学校	205																							
三根中学校	166																							
給食センター	14																							
計	796																							
学校名	提供数																							
中原小学校	428																							
北茂安小学校	542																							
北茂安中学校	282																							
計	1,252																							
事業の成果等	自己評価	衛生管理を徹底し、食中毒等の事故も無く、充実した給食内容を提供できた。異物の混入が数回あり、その都度原因を特定し、改善した。給食費の未納はない。施設・設備の改修・入替を行い、円滑な業務が出来るように改善した。																						
	達成 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成 やや不十分 不十分																							
評価委員	評価結果	意見・指摘事項																						
	達成 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。																						
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																							

事業名	青少年健全育成事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	3,401	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							3,401
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	青少年の体験活動の充実及びサポート隊組織強化と活動の充実					
事業の内容等	青少年健全育成指導員や青少年育成町民会議と連携し、地域での青少年育成や青少年サポート隊活動による子どもたちの安全安心な環境づくりに取り組む。						
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成指導員については、各地区1名の計57名に委嘱して、校区ごとに月1回程度指導員会議を開催し、地域での活動や現状報告を行い青少年の健全育成に取り組んだ。また、青少年健全育成指導員が主体となって地区懇談会を開催し、小・中学校の現状や教育委員会の取組み等を報告し、地域住民との意見交換を行った。（25地区実施） ・青少年育成町民会議においては、地区で取り込まれる体験活動やふれあい交流活動に対して助成を行う「青少年育成地区活動補助事業」を実施。（48地区助成） ・広報啓発事業として、「少年の主張」文集を作成し各世帯に配布した。 ・小中学校交流主張会を11月に校区ごとに開催した。 ・青少年サポート隊による登下校時の立番や防犯パトロールを実施した。 ・組織強化として総会及び青少年サポート地区隊長会議を開催し、あいさつ運動の推進や鳥栖警察署の講話を実施した。また、武雄市青少年育成市町民会議に先進地視察を行い、先進的な取り組みを参考にして活動の充実を図っている。 						
事業の成果等	自己評価	地域において子どもと大人が一緒になって参加する体験活動やふれあい活動を推進することにより、青少年健全育成の充実を図ることができた。また、青少年サポート隊の活動により、登下校時の交通事故や子どもたちが犯罪に巻き込まれるような事件を未然に防いでいる。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	まちづくりいきいき女性クラブ 事業		所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
			費目	社会教育総務費			
事業費 (千円)	2,663	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							2,663
基本 方針	重点目標	地域住民の交流を図り親睦と連携の強化					
	主要施策	女性活動・町民協働支援の推進					
事業の 内容等	<p>地域が一体となり共に支えあう福祉社会の形成及び女性の視点に立った魅力ある住みよいまちづくりの実現を図るため、各行政区に、まちづくりいきいき女性クラブ地区推進員を置き、その活動に対して助成金を交付する。</p>						
事業の 実績等	<p>○40地区 45名登録（400世帯を超える行政区は、1人増員可） ・中原校区 9地区12名 ・北茂安校区 15地区17名 ・三根校区 16地区16名</p> <p>○活動内容 ・交流事業 ゲーム・スポーツ大会 茶話会 クリスマス会 ウォーキング 等 ・各種教室 料理教室 ゴキブリ団子作り 手芸教室 寄せ植え教室 等 ・奉仕活動 花壇の花植え 草取り 神社等の清掃 お地蔵様の前掛け作り 等 ・研 修 工場・玄海原子力発電所・博物館等見学 出前講座 等 ・地区行事サポート 敬老会 世代間交流 その他地区行事</p>						
事業の 成果等	自己評価	推進員の活動により、女性だけでなく、男性、子ども等も参加して地域住民の交流が行われ、親睦と連携の強化がなされた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	町全域57地区の内、40地区の設置であり、前年度から1地区の増となっている。					
評 価 委 員	評価結果	意 見 ・ 指 摘 事 項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度 以降の 取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	放課後子ども教室事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	688	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				458			230
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	総合的な放課後子どもプランの実施および活動の推進					
事業の内容等	<p>校区ごとに、スポーツ、手芸、英会話等の教室を実施し、多様な体験活動の機会を充実させ、子どもたちの心豊かな成長を育むことを図る。さらに、地域住民の参画を得ることにより、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを推進する。</p>						
事業の実績等	<p>○ 5月～翌年2月にかけて土曜日の午前中に、中原風っ子元気スクール（全9回）、茂安っ子いきいきスクール（全9回）、三根わくわくスクール（全9回）を各校区において実施した。また、夏休み期間中も各校区において夏休み子ども教室を実施し、多くの子どもたちが参加した。</p> <p>○ 教室内容：スポーツ、手芸、英語、木工、ハンドベル、遊んじゃ王（昔遊びや体験活動等）等</p>						
	放課後子ども教室名		土曜子ども教室開催回数	夏休み子ども教室開催回数	参加者数	延べ参加者	
	中原風っ子元気スクール		9回	16回	297名	766名	
	茂安っ子いきいきスクール		9回	16回	215名	477名	
	三根わくわくスクール		9回	16回	142名	355名	
	計		27回	48回	654名	1,598名	
事業の成果等	自己評価	<p>放課後子ども教室を実施したことで、子どもたちの安全で健やかな居場所を提供できた。その中で、学校では学べない貴重な経験と1年生から6年生までの異年齢間の交流を図ることができた。さらに、夏休みに三校区合同で開催した教室もあり、校区間の児童の交流も図ることができた。また、地域の方々が指導員として参加していただいたことで子どもたちとの交流も深められた。</p>					
	<p>達成</p> <p>おおむね達成 やや不十分 不十分</p>						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<p>達成</p> <p>おおむね達成 やや不十分 不十分</p>	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	生涯学習事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当		
				費目	公民館費				
事業費 (千円)	700	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
						652	48		
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成							
	主要施策	生涯学習の環境づくり							
事業の内容等	住民の多様化する学習ニーズに対応して、各種教養講座や教室を実施し、住民の教養の向上、健康増進を図る。								
事業の実績等	各会場における公民館事業の実施状況								
	会場	事業の種類				回数	参加者数（人）		
							男	女	計
	中原会場	みやき塾（中原編）、風カレッジ、パソコン講座 さおり織り教室				22回	55	209	264
	北茂安会場	みやき塾（北茂安編）、歴史発見講座、エコクラフトバッグ 作り教室、トールペイント教室、パッチワーク教室、パソコン教室（ワード初級・中級）				27回	233	488	721
	三根会場	みやき塾（三根編）、生きがい講座				7回	35	190	225
計					56回	323	887	1,210	
事業の成果等	自己評価	住民のニーズに対応する講座・教室を開催することで、生涯学習の情報提供、環境づくりが実施できた。今後も参加者を増やすために努めていきたい。また、介護予防事業と連携した高齢者向けの講座を行い、多くの高齢者が楽しんで講義を受けられた。高齢者が生涯を健康で生きがいを持って生活できるよう支援した。							
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分								
評価委員	評価結果	意見・指摘事項							
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。							
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等								

事業名	図書館事業		所管課	社会教育課	担当	図書館担当	
			費目	図書館費			
事業費 (千円)	4,149	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						500	3,649
基本方針	重点目標	社会教育の振興、歴史や文化の情報発信					
	主要施策	生涯学習の環境づくり					
事業の内容等	子育てし易い町にふさわしい児童図書の実と、乳幼児期の子を持つ家庭への絵本による子育て支援に努力する。						
事業の実績等	○ 蔵書構成						
		一般書	児童書	AV資料	雑誌	合計	
	30年度末	49,494	20,969	1,590	2,771	74,824	
	内30年度受入分	(1,950)	(918)	(26)	(463)	(3,357)	
	○ 貸出実績						
		開館日数	館外貸出人員	館外貸出冊数	1日平均貸出冊数		
	279日	20,412人	98,589点	353点			
○ リクエスト、レファレンスサービス							
・ リクエスト 予約件数 2,524件 (貸出中資料については予約処理、未所蔵資料については購入及び他館より借受で対応)							
・ レファレンス 140件 (読書相談、調べものに対応)							
○ みやき町在住で乳幼児のいる家庭に、司書が選書した絵本10冊をセットにして1か月間貸出できる“赤ちゃん絵本パック”を追加作成、貸出中である。0歳～3歳程度までを対象としており、年齢別に合計40セット準備した。H30年度登録者数41名。 また、こすもす館・農村環境改善センター図書室にも2セットずつ準備し、貸出を開始した。							
○ みやき町内で読み聞かせ等の活動をされている団体への支援として、“大型絵本”“ブラックシアター”等を購入した。今年度購入したものと合わせて写真付きのリストを作成し、利用販促に努めた。							
事業の成果等	自己評価	農村環境改善センター図書室は住宅増のため、乳幼児連れの利用が増えた。こすもす館図書室は、乳幼児から保育園・小学生等やそのご家族の定期的な利用が増加傾向にある。町立図書館では、学校・読み聞かせ活動等の団体より、授業や読み聞かせに使用する絵本の調べ物(レファレンス)を多く受け貸出した。大型絵本等、読み聞かせのツールも合わせて、今後の利用に繋げていきたい。赤ちゃん絵本パックは好評であり、今後も利用者を増やしていきたい。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	農村環境改善センターの図書室は、蔵書が少なく町立図書館に比べさみしいので検討する必要があるのではないかと。					
年度以降の取り組み	指摘事項を受けての改善点等						
	現在10万円の予算にて児童図書を中心に購入している状況である。また町立図書館より月120～200冊、色々なジャンルの本を巡回本として置いており、定期的に入れ替え作業を行っている。同時に、三根町より受け継いだ図書を比較的新しい図書に入れ替える作業中であり、順次進めていく。						

事業名	文化財保護事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	文化財保護費		
事業費 (千円)	39,819	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			2,400	864		10,028	26,527
基本方針	重点目標	開発と埋蔵文化財の調整及び保護、史跡維持管理、その他業務の推進					
	主要施策	開発把握の徹底、史跡の活用、文化財の啓発活動の推進					
事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発を事前に把握し埋蔵文化財の有無を確認する確認調査事業 ・ 確認調査の結果検出された重要な遺跡について、より詳細に内容を把握し、遺跡の記録保存を図るための本調査事業 ・ 県・町指定史跡の維持管理事業 ・ 文化財の啓発活動事業など 						
事業の実績等	<p>○平成30年度文化財保護法第93・94条第1項による開発届出処理件数：108件 確認調査実績件数：59件（59件中、10件で遺跡を確認し、1件が本調査へ移行。その他は設計変更等により遺跡が保存された。）</p> <p>○本調査実施（町単独・受託事業） 町道建設に伴う三浦遺跡及び倉庫建設に伴う西寒水四本柳遺跡13区の発掘調査を行った。また、平成26年、27年度実施の町内遺跡確認調査、1原古賀一本柳遺跡4区、町南遺跡14区、西寒水四本柳遺跡10区、12区の整理作業を実施し、報告書作成を行った。</p> <p>○県指定史跡—4ヶ所、町指定史跡—2ヶ所の維持管理業務を実施した。県指定史跡姫方遺跡のフェンス設置、看板作成、高柳大塚古墳の入り口標識設置などを行った。</p> <p>○町内指定見直し作業—町内に所在する文化財について、神像や仏像を中心に見直し作業を行い、報告書を刊行した。</p> <p>○歴史講座等の町民に向けた講座を開催し、文化財への啓発活動を行った。 歴史講座—全8回で、参加者総計473名（前年度—全8回、参加者総数513名）</p>						
事業の成果等	自己評価	開発に伴う確認調査及び本調査を実施することにより、みやき町の歴史の証しである埋蔵文化財と開発との調整を図ることができた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	史跡維持管理は、除草作業を行い、景観美化に努めることができた。 啓発活動の歴史講座については、ほぼ毎回60名近い参加があり、郷土の文化財への理解を深めていただき、地域活性化の一助となるよう努めることができた。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	肥前さが幕末維新博補助金事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	3,998		国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				2,665			1,333
基本 方針	重点目標	明治維新 150 年記念事業として、近現代に功績をあげたみやき町の偉人・賢人を顕彰する					
	主要施策	みやき町偉人・賢人史の作成及び全戸配布					
事業の 内容等	明治維新 150 年記念事業として佐賀県が行う「肥前さが幕末維新博覧会」の関連事業として、みやき町の近現代において各分野で功績をあげた偉人、賢人をピックアップし顕彰する冊子の作成を平成 29、30 年度の 2 ヶ年で実施する。平成 30 年度は執筆、編集、印刷を行った。						
事業の 実績等	<p>○みやき町偉人・賢人史調査作成委託料 3,998 千円（県補助率 2/3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4 判 フルカラー 82 ページ ・掲載人物 <ul style="list-style-type: none"> 北茂安校区 市村清氏 他 30 名 中原校区 松尾禎作氏 他 9 名 三根校区 田中熊吉氏 他 15 名 						
事業の 成果等	自己評価	計画通りに完了した。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評 価 委 員	評価結果	意 見 ・ 指 摘 事 項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度 以降の 取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	九州及び全国競技大会 出場補助事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当	
			費目	保健体育費			
事業費 (千円)	1,152	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							1,152
基本 方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	競技スポーツの振興					
事業の 内容等	本町内に在住する者が九州地区又は全国競技大会に出場する場合に予算の範囲内において補助金を交付し出場者の負担軽減を図り社会体育の振興に寄与する。						
事業の 実績等	○ 全国大会 バウンドテニス(東京都 2名) 卓球(徳島県 2名) 柔道(東京都 1名) ハンドボール(京都府 1名) ビーチバレー(愛媛県 2名) 弓道(富山県 2名) 剣道(東京都 6名) 新体操(群馬県 1名) レスリング(静岡県 2名) バレーボール(大阪府 1名) チアダンス(東京都 1名) 体操(岩手県 1名) バレーボール(大阪府 2名) 剣道(兵庫県 7名) 軟式野球(沖縄県 3名) 水泳(東京都 2名) 小計 36名 (大人 9名、高校生以下 27名) 645千円						
	○ 九州大会 バレーボール(沖縄県 7名) 空手(熊本県 2名) 柔道(福岡県 2名) 軟式野球(熊本県 1名) ビーチバレー(熊本県 2名) 水泳(大分県 1名) テニス(熊本県 3名) テニス(長崎県 2名) 太鼓(熊本県 11名) サッカー(大分県 3名) 体操(佐賀県 1名) ハンドボール(大分県 2名) 水泳(鹿児島県 19名) 剣道(熊本県 7名) 小計 63名 (大人 18名、高校生以下 45名) 507千円 合計 のべ 99名 1,152千円 (前年度 117名 1,181千円)						
事業の 成果等	自己評価	前年度と比較して人数で 18名、金額で 29千円の減少となっている。これは成績を残した競技が団体か個人か、また大会が実施された地域によって異なってくるものであり、成果としては出場者の負担軽減を図ることができたと考える。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評 価 委 員	評価結果	意 見 ・ 指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度 以降の 取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	町民体育大会実行委員会 補助事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当	
			費目	保健体育費			
事業費 (千円)	1,006	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							1,006
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	多様なニーズに対応できる生涯スポーツの振興					
事業の内容等	スポーツ・レクリエーションを通じて町民の融和と健康づくりを図り、生涯スポーツ、地域スポーツの振興と明るく豊かな町づくりのため町民体育大会を開催する実行委員会に補助金を交付することにより大会経費の軽減を図る。						
事業の実績等	<p>3 校区とも台風接近による危険回避のため、各校区の実行委員会にて協議を行った結果、町民体育大会の開催を中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中原校区町民体育大会 補助金 600 千円 事業費 240 千円（事業未実施につき、360 千円町へ返還） ○ 北茂安校区町民体育大会 補助金 600 千円 事業費 460 千円（事業未実施につき、140 千円町へ返還） ○ 三根校区町民体育大会 補助金 600 千円 事業費 307 千円（事業未実施につき、293 千円町へ返還） 						
事業の成果等	自己評価	各校区で実行委員会を重ね準備を行ってきたが、台風接近によりやむなく中止の決定をした。購入した賞品や物品等は次回へ持ち越すようにし、執行しなかった補助金は町へ返還した。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	各種スポーツ大会等開催事業			所管課	社会教育課	担当	社会体育担当
				費目	保健体育費		
事業費 (千円)	106	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							106
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	多様なニーズに対応できる生涯スポーツの振興					
事業の内容等	スポーツを通じて町民の融和と健康づくりを図り、生涯スポーツ、地域間スポーツの振興と明るく豊かな町づくりを目指す。						
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6/24 第14回分館対抗女子ミニバレーボール校区大会 23チーム 312名の参加(1位 中原→山田・箕原、北茂安→白石・西尾、三根→新町) 7/1 第14回分館対抗女子ミニバレーボール町決勝大会 12チーム 162名の参加(1位 中西・中東、2位 山田・箕原、3位 白石・西尾) ○ 9/7 第13回ナイタースーパーキックベースボール大会 →雨天のため中止 ○ 11/2 登山教室(久住山：大分県竹田市) 18名参加 ○ 11/5～14 第13回クラブ対抗女子ミニバレーボールリーグ戦 14チーム 176名の参加 (Aクラス1位 ドラゴン、Bクラス1位 Wエンジェルス、Cクラス1位 ハッピーズ) ○ 11/25 第6回分館対抗男子アジャタ(スポーツ玉入れ)大会 20チーム 189名の参加(1位 土井内、2位 白壁、3位 西分) ○ 3/5、3/12、3/19 ニュースポーツ教室 室内ペタンク、ワンバウンドふらばーるボールバレー、スポンジテニス等 のべ22名参加 						
事業の成果等	自己評価	開催した大会・教室において、参加者数に多少の変動はあるが、安定した参加が見られている。25年度より開始したアジャタ(スポーツ玉入れ)大会は、6回目を迎え分館対抗のスポーツ行事として少しずつ定着し始め、大いに盛り上がった。用具についても分館からの借用回数も増えており、誰でも気軽に参加できるスポーツとして、今後も周知・普及に努めたい。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
年度以降の取り組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	社会体育施設整備事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当	
			費目	保健体育費			
事業費 (千円)	139,508	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
					109,558		29,950
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	社会体育施設・設備の充実					
事業の内容等	老朽化による施設の不具合の解消及び長寿命化を目的として合併特例債を活用し、北茂安運動場、北茂安テニスコートの改修工事を行った。また、中原総合センター内水路整備及び西側木橋改修工事等を行い、施設の適正管理や機能強化を図った。						
事業の実績等	<p>○北茂安運動場・北茂安テニスコート改修工事 事業費 115,324千円 工事内容 野球場ダッグアウト改修、防球ネット・フェンス改修、駐車場区画塗装、トイレ新設、電気設備改修(放送設備、電撃殺虫器)、グラウンド土壌改良など</p> <p>○中原総合センター水路整備・西側木橋改修工事 事業費 12,005千円 工事内容 U字溝整備、法面成型による排水機能強化、転落防止フェンス設置による安全対策、西側木橋改修工事など</p> <p>○各校区テニスコート壁打ち用塀撤去・設置工事 事業費 12,179千円 工事内容 大阪府北部地震でのブロック塀倒壊死亡事故に伴い、基準を満たす塀の設置工事</p>						
事業の成果等	自己評価	計画通りに完了した。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						